



Sponsor a Child

# クリスチャンパートナーズ

## 通信第 100 号

- 
- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| ・発行日／2017年09月15日                              | ・発行所／クリスチャンパートナーズ                 |
| ・事務局／〒422-8053 静岡市駿河区西中原<br>2-7-63-111 竹澤三佳子方 | ・Tel／Fax 054-283-1721             |
| ・郵便振替口座／00150-0-134994                        | ・e-mail／sunflower818@hw.tnc.ne.jp |
|   | ・http://www2.wbs.ne.jp/~c-p/      |
- 

### 松本繁雄顧問を偲んで

理事長 木ノ内一雄

前理事であり、長らく顧問としてクリスチャン パートナーズを支えてくださった松本繁雄氏が5月16日に天に召されました。91歳でした。葬儀は鎌倉恩寵教会で執り行われました。昨年12月に病院にお見舞いできたことは、幸運でした。

クリスチャン パートナーズは、1984年にアレン・フィンリー師夫妻が来日されたのを機に、同夫妻にお世話になった元留学生たちが中心になって結成されました。松本さんとの親交はそれから、30余年の歳月が瞬く間に過ぎました。松本さんはフルブライト財団の第一期留学生で、帰国後味の素に勤められ、東南アジアで工場長や子会社の社長として重責をはたされました。

クリスチャン パートナーズ創立の趣旨であった西カリマンタンの子どもたちへの学資援助という目的に最適の人材として、草野理事長を助けて同会を盛り立ててくださいました。里親と里子の間の理解を深めようと、堪能なインドネシア語で挨拶など初歩の言葉の学びを、10回にわたって「通信」に載せてくださったこともありましたし、現地を訪問した理事たちに同行して、良き案内役も務められました。ご高齢となり、理事会出席がご無理になった時からは顧問としてお助けくださいました。

個人的な話になりますが、私は外資系の会社に勤めていましたが50歳を前にして辞め、神学校に行く決心をしました。それを知った松本さんは私を食事に招いて、いろいろ励まし、親身になって考えてくださいました。神学校を卒業し、牧師として教会に赴任して後、しばらくして私は草野理事長の後を引き継ぐようになりましたが、松本顧問のお支えを感謝しております。

シンガポール事務所を通しての西カリマンタンの子どもたちへの学資援助に加え、アンテオケ宣教会の高橋めぐみ宣教師により、同地域の中学・高校生から大学生・神学生に支援の手を広げ、アジア学院に留学したバンマリグ師を通して、ガーナ農村の援助にまで広がりました。「受けるよりは与える方が幸いである」\*とありますが、里親の皆様にも言えるのではないかと思います。\*使徒言行録20：35

## 2016年度 SAC カリマンタンの奉仕活動報告

牧師 サロミ イマン (Salomi Imang)

主イエス・キリストの御祝福によって、西カリマンタンの諸教会、教会員の奉仕、SAC活動は今年度も順調に行われています。日本の支援者の皆様に、SAC 里子たちへの心遣いを、この機会に心より御礼申し上げます。

ご援助のお蔭で、多くの子どもたちが教育を受ける機会を与えられ、多くが高校を卒業し、仕事について親たちを助けています。なかには、大学に進学する者もいます。

**教会を通しての SAC の奉仕：**教会周辺に住んでいる経済的に豊かでない子どもたちに、教育の機会が与えられ、将来への明るい見通しができます。里子になった子どもの親たちも教会に出入りするようになり、なかには洗礼を受けた人もあります。

**教会での活動紹介：**毎週日曜の〈日曜学校〉では、小グループに分けた子どもたちに教師が付き、SAC 里子たちを交えて信仰の心を成長させる指導をしています。

ある教会では第一日曜日の礼拝の後、栄養についての勉強があり、大人と子どもと一緒に食事をします。教会からは子どもたちに、牛乳と卵や菓子が配られます。SAC 里子の親たちは、子どもの栄養について関心が薄いからです。

教会学校で奉仕する先生たちの助手として、年長の SAC 里子が奉仕しています。これは子どもたちの信仰心を養うのに力となります。奉仕者への訓練は、毎年講習会として行われます。教会は合同で、SAC 里子を含めた教会学校の子どもたちへの特別礼拝を行い、自覚と精神を高める機会を作ります。教会の創立記念日などには、子どもたちが喜ぶプログラムが用意されました。

毎週土曜日に、青少年のための聖書勉強会が行われている教会もあります。

支援者の皆様に祈っていただきたいことは・・・

1. SAC の子どもたちの信仰心の成長
2. たばこやインターネット関連のものに影響されないように
3. 問題のある SAC 里子の生活改善
4. キリストを受け入れていない SAC 里子の親たちのために

神様のご祝福が、支援者の皆様の上にありますように。  
サロミ・イマン



日曜学校の礼拝 白い札を持つのは SAC 里子



プレゼントに大喜び、SAC 里子も



教会学校教師研修会 (中央↑サロミ牧師) 中には元 SAC 里子もいます

ダミさんが大学院を卒業しました。長い間見守っていただきありがとうございました。ダミさんのこのような努力は周囲の高校生たちの励みになっているということです。彼女からの手紙をいつものように稲葉さんに翻訳していただきました。今後ともご加祷ください。理事・宮澤玲子

### シャローム

主イエス・キリストのお恵みがいつも私たちの上にありますように。いかがお過ごしでいらっしゃいますか。おかげさまで私も元気しております。神様のお助けにより 2016年に大学を卒業することができ、2017年1月27日に卒業式が行われました。これはすべて宮澤様はじめクリスチャンパートナーズの皆さまが、今までたくさんのご支援、お祈りをしてくださったお陰です。心から感謝申し上げます。



現在、私はアンジュンガン神学校とタンジュン・ブラ大学で非常勤講師として働いております。今年の10月にタンジュン・ブラ大学で教職員（正職員）の試験を受けたいと思います。神様はきっと力をくださると信じています。どうか合格できますようにお祈りください。キャンパスでの働きは私の夢です。そのために今、一生懸命に努力しております。教えるということは幸せなことです。私の元教え子が私のことをまだ覚えており、彼らは私の一生懸命なところ、一緒に考えてくれること、勉強を教えてくれたことを大変嬉しいと言ってくれました。彼らはきっと生活の上に神様のお恵みを感じていることでしょう。私にとって大学院に進学できましたことはほんとうに素晴らしく、想像もできませんでした。



神様が高橋先生やスポンサーの皆様の心を動かしてくださり、私と家族にたくさんのお援助をしてくださり、大学院まで学ぶ機会を与えてくださいました。最初はやはり多くの難問が立ちはだかり、諦めることも考えましたが、神様のお助けにより無事卒業することができました。私の同期生30人中卒業できたのは8人だけです。大学の勉強の期間は終了しましたが私の教育現場の戦いはまだ終わっていません。インドネシアの教育のレベルは年々上がってきましたが日本のレベルと比較してまだ程遠いと感じております。

最後に私自身、そして家族の代表として、今までたくさんのお援助をしてくださいましたことに心からの感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。神様がいつまでもこれから先、スポンサーの皆様の上に多くの恵みを注がれますようにお祈りいたします。これからも仕事や学生たちの勉学の進行状況をお伝えしたいと思います。今までほんとうにありがとうございました。皆様のご健康、ご奉仕の上に神様の御祝福がたくさんありますようにお祈り申し上げます。



尊敬とともに ダミ

# ガーナ活動 2016 年度年次報告 アモス・バンマリグ

抄訳 理事 木ノ内和美

2016 年度は飛躍の年となりました。ヤマを始め 13 の村に宣教師を派遣、ワークショップ 3 回、戸別訪問により開拓伝道の教会 2 箇所、700 人余をキリストに導きました。教会運営や青年たちへの伝道のための指導者養成も成功し、これらを成し遂げさせてくださった神に感謝するとともに、皆様の祈りと支援なくしてはできなかったことと御礼申し上げます。

\*伝道活動： 新しい自転車でアズマ牧師が遠方の村まで行くことが可能になり、伝道集会を各所で開き、学生たちに聖書を配りました。教職者の訓練、指導者養成、カウンセリング、信仰告白者が多数ありました。

\*「ヤマ子どもの家」は「バンマリグ・フューチャースター・アカデミー」と改名。生徒が 250 名となって、座って勉強する場所がありません。付随する養護施設も修繕が急務です。

\*山羊育成プロジェクトは、クリスチャン パートナーズの支援のみで運営されていて、順調に進んでいます。孤児や寡婦は非常に貧しく、その生活を支えるため山羊 8 頭を 4 家族に提供しました。

\*生活水準向上のため大豆食品の料理指導を行い、90 人が 3 日間料理の勉強をしました。

\*飲料水の衛生プロジェクトに「キリストのための水」という支援組織がボーリングをして水の供給を可能にしたので、私たちの村にも来てもらい、水を清潔に使うための組織作りしました。

\*フットボールの試合など、スポーツ活動を通して、青年たちに伝道しました。

**必要とするもの：**オートバイ、孤児の宿泊施設・衣服・食料、山羊飼育の費用

**祈りの課題：**働き人と家族の健康が守られ、村々への交通が安全で、訓練プロジェクトや、山羊育成などのための資金が充分与えられるように。

奉仕者の働きが、神のみ心にかなうものであるように。

2017 年度もクリスチャン パートナーズ会員のお祈りとご支援に支えられて、活動を継続する所存です。皆様に主のお守りがありますように祈ります。 アモス・バンマリグ

~~~~~

【理事会報告】第 197 回理事会は 2017 年 6 月 05 日(月)一ツ橋学士会館で開催。2017 年 03, 04 月度会計報告承認。2017 年度の予算協議、定期預金を解約し全体会計への合一を承認。里親・里子ともに変更があり、現在里親 20 名、里子 21 名。元理事で顧問として会を支えてくださった松本繁雄氏が 5 月 16 日召天。奈須輝美監事が急逝されたので、今年度末には神田理事に監事役を務めていただく。木ノ内理事の要請に応じて、シンガポール事務所からミャンマー・ラオス視察の提案があり、理事に紹介された。「通信」第 100 号には、理事長が松本顧問の追悼文を、会計理事として竹澤理事が奈須監事の追悼文を書く。サロミ牧師の年度末報告、ダミさん大学院卒業報告に、ガーナの報告が入り、2016 年度決算・2017 年度予算が加わる。

第 198 回理事会は 2017 年 8 月 07 日(月)一ツ橋学士会館で開催。2016 年 05, 06 月度会計報告承認。2016 年度決算は神田理事が監事代行で承認、2017 年度予算を協議し承認。「通信」第 100 号は 9 月初旬発行予定。理事長のラオス・ミャンマー視察旅行は 9 月 18 日～28 日。費用は当会より 20 万、宮澤理事支援 15 万で残余は理事長負担。欠員の監事を依頼する必要。第 199 回理事会は 2017 年 10 月 23 日(月)一ツ橋学士会館。

\*\*\*\*\*

〈編集後記〉当会の発足当初から、草野理事長の片腕としてお働き下さった松本顧問を天国にお送りし、続いて、松本理事の御紹介で監事としてご奉仕くださった奈須さんを失いました。理事会は年度替わりを悲しみの内に送りました。新しい年度も、会員皆様のお祈りとお支えをお願い申し上げます。 鳥海百合子